

まなび

発行 松永生涯学習センター編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



(QRコード)

11 住み続けられるまちづくりを



ふくやま まちづくり大学を開催しました!

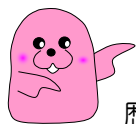
10月24日(土)に、ふくやま まちづくり大学を開催しました。今回は、『暮らしに活かす多文化共生学』をテーマに、まつなが日本語教室・外国人市民が働く職場ベトナム本格料理店「クエトイ」・福山市外国人相談窓口を訪ね、活動内容や現在の状況などを話していただきました。

まつなが日本語教室では、日本語教室を始めるきっかけとなった経緯や外国人に日本語を教える難しさなど体験談を交えながら活動の内容を話していただきました。また、現在の新型コロナウイルス感染症対策の学習方式の取組みや今後の課題についてもお話しされました。

ベトナム料理店「クエトイ」は、料理を提供しているだけではなく、日本で暮らすベトナム人労働者のために生活支援の相談やベトナム文化の紹介などを行い、日本人との交流を深めています。

福山市外国人相談窓口では、外国人相談員の職員が日本で暮らす外国人市民の人数や在留資格についての現状や、こういった相談内容があるのかなど資料をもとに説明をしていただきました。

松永地域には国籍も言語も異なる多くの外国人市民が暮らしています。その中で、様々な分野の人が協力しながら外国人市民と協働で、住みやすいまちづくりをめざしています。



「まつながさんぽ」のお知らせ

「まずは歩いて見ることで、自分たちの暮らす松永の歴史や文化を知ろう!」と始めた「まつながさんぽ」。12回目の今回は本郷町をさんぽします。詳しい内容は申込みの時にお伝えします。

日時 11月21日(土) 10時集合 2時間程度
場所 本郷公民館駐車場
講師 田口義之さん(備陽史探訪の会)
定員 10人

*新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、当日は、検温、マスクの着用等をお願いします。

●申込み・問合せ 松永生涯学習センター
電話 (084-934-5443)



2019年度(令和元年度)

協働のまちづくり推進事業報告書が福山市ホームページへ掲載されました。

福山市全学区(町)のまちづくり推進事業の内容がわかります。ぜひみなさんの学区(町)の活動を振り返り、他の学区(町)の活動を今後の参考にしてください。

2019 まちづくり推進事業報告書



*各公民館のHPからもご覧いただけます。

(検索)



コミュニティセンター三館合同人権啓発講座～人権を大切にすまちづくり

10 人や国の不平等をなくそう

SDGs 10 人や国の不平等をなくそう

松永支所管内のコミュニティセンター三館合同で、毎年行われている人権啓発講座が、10月3日(土)に本郷コミュニティセンターで開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をできる限り工夫しての開催となりました。

この事業は、2012年度より始まりました。「同和問題を始めとする現代社会に潜む様々な人権課題を学習する機会を提供し、参加者にはお住いの各学区(町)において人権学習を推進していただくことで人権文化が根付いた地域社会をめざす！」という目的で行っています。

今回の学習テーマは、「**あなたの個人情報も危ない!**」で、講師の山下真澄さんから、司法書士などが偽造した委任状を使って不正に個人情報を入手し、その情報が部落差別や脅迫、ストーカー、また特殊詐欺などに使用されたという現実起きた事件を、具体的な資料を基にお話されました。個人情報の不正取得の背景には、個人情報を求める人がいることや個人情報に無頓着な人が多いことがあり、2018年度に行われた福山市民意識調査では実に59%の人が「どちらかと言えば身元調査は必要」と回答していることなどのお話がありました。

このようにコミュニティセンターでは身近に存在する人権課題について、今後も「**差別をしない・させない・なくしていく**」ために、自分を振り返り、人権についてじっくり考える啓発講座を継続していきます。



2020年度(第一期)「ふくやま地域づくり塾」報告

「地域づくり」の学びを深め、地域における活動や組織のあり方を振り返り、これからの地域づくりを考えることを目的に、昨年度から開催している「ふくやま地域づくり塾」が、福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザーの櫻井常矢教授(高崎経済大学)を講師に、今年の7月から9月にかけて、全3回の講座が行われました。

第1回【2020年7月12日(日)開催】は、櫻井教授の講義を経て、「なぜ今、地域づくりが必要なのか?」、「地域の暮らしを支える(地域の課題を解決する)とはどういうことなのか?」を学び、グループワークを通じて、地域を取り巻く様々な課題を客観的に整理しました。

第2回【2020年8月2日(日)開催】は、「地域の事業活動を分析する」をテーマに、各地域で取り組んでいる事業活動を客観的に分析した結果、昔から行っている「交流・文化のための事業」が多く、地域の声を反映した「地域課題の解決につなげるために始まった事業が少ないことが明らかになりました。その後、「事業活動を考える(見直す)ために必要な取組は何か?」について話し合いました。

第3回【2020年9月6日(日)開催】は、「持続可能な組織運営をえがく」をテーマに、自由な話し合いの段階で人材発掘をすることが重要であり、また活力ある組織として、個々の特性を活かし、継続してまちづくりに関われる体制を築くことの大切さを学び合いました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数での開催となりましたが、「これからの地域づくり」にむけて実践的な学習をするとともに、参加者同士が地域の垣根を越えたつながりをつくる場にもなりました。

参加者感想

- より多くの人が出し合う場をつくることの大切さを学んだ。
- 「決定する人」と「実働する人」を分けることで負担軽減ができ、活動がやり易くなると思う。





情報びっくり箱

講座に参加する時は
マスクを着用してください



松永図書館(933-3770)

<11月の行事>

☆展示「長い夜に一冊いかが？」

11月生まれの偉人・有名人たち

- 期間 11月1日(日)～30日(月)
- ところ 松永図書館 展示コーナー
- 内容 11月生まれの偉人・有名人の著書や関連本などの展示・貸出



<<図書館のお休み>>

11月17日(火) 休館日

松永公民館(933-4864)

☆届け！「まつながローズマインドエール」

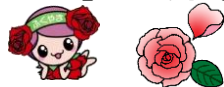
ローズマインド(思いやり・やさしさ・助け合いの心)

- とき 10月31日(土)～11月12日(木)
- ところ 福山市西部市民センター1階エントランス
- 内容 コロナ禍において、医療や介護関係などで働く方や、家族や地域ボランティアの皆さんの「がんばり」に感謝の声を届けます。



松永小学校の児童が、感謝の言葉や励ましの声を記入したハート形メッセージカードをパネル展示します。子どもたちの「ローズマインドエール」から元気をもたらしてください。

- 問合せ 松永公民館へ



藤江公民館(935-7401)

☆社会教育活動事業

地域の魅力再発見 ～名所・史跡めぐり～

- とき 11月23日(月・祝) 9時～12時
- ところ 藤江町6番組(集合場所:藤江公民館)
- 内容 6番組(瀬丸)の史跡めぐり ※4～5km程度のコースです。

- 対象者 成人一般
- 講師 杉原 榮 さん(元藤江公民館長)
- 定員 なし
- 申込み 必要【締切:11月20日(金)まで】
- 参加費・材料費 なし
- 持参物 飲み物
- その他・歩きやすい靴
・動きやすい服装でお越しください
- 申込み・問合せ 藤江公民館へ



高西コミュニティセンター(934-2329)

☆人権啓発講座

「ヘイトスピーチ解消法」を知っていますか？

- とき 11月11日(水) 19時30分～21時
- ところ 高西コミュニティセンター
- 内容 この法律のねらいなどと合わせて、法律ができたことで何が変わったのか、講師の体験などを交えて分かりやすくお話していただき、私たちが何をすべきかを考える。
- 対象者 成人一般
- 講師 李 昇勲 さん
- 定員 30人
- 申込み 不要【※託児希望の方は、11月7日(土)までに高西コミュニティセンターへお申込みください】
- 参加費・材料費・持参物 なし
- 問合せ 高西コミュニティセンターへ



☆交流促進講座開催事業 子育て交流事業

リトミック・ベビー講座

～音楽いっぱい・笑顔いっぱい 子どもの感性を育む～

- とき 11月17日(火) 10時～11時30分
- ところ 高西コミュニティセンター
- 内容 保護者とお子さんと一緒に、音楽を通して楽しく脳を活性化し、音感・感性を育てる。
- 対象者 生後3カ月頃から1歳前後のお子さまと保護者
- 講師 渡邊 留美子 さん(リトミック認定講師)
- 定員 5組
- 申込み 必要【定員になり次第締め切ります。】
- 参加費・材料費 なし
- 持参物 敷物(バスタオルなど)・飲み物などお子さまに必要なもの
- 申込み・問合せ 高西コミュニティセンターへ



今年度のフレンドリーピック まつながカーブチェアの中止について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度のまつながカーブチェアは、「中止」とさせていただきます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。なお次回は、2022年1～2月に開催を予定しておりますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

今月は

4 質の高い教育をみんなに



- 小学校に通えない子どもが世界に6,300万人います。それは、病気・栄養不足・労働・差別など、さまざまな理由があります。
- 基礎学力を得られず、貧困から抜け出せない若者が多くいます。
- 母親教育を受けられず、発育阻害になる子どもがいます。
- 学力が得られず、何世代も貧困が連鎖しています。

■教育の機会をすべての人に保障することができれば…

- 子どもの死亡率が減るでしょう。
- 貧困から抜け出せる人が増えるでしょう。
- 平和・非暴力・人権などの理解が広まるでしょう。
- 社会の一員として持続可能な社会作りに参加できるでしょう。

5 ジェンダー平等を実現しよう



- ジェンダーとは、社会的に見た性別です。
- 男性優位な考え方が、法律・仕組み・風習・生活習慣・収入などあらゆる所にあります。
- 学校へ通えない子どもの54%が女子です。
- 性的に不利益を受けているのは女性だけではありません。

■ジェンダー平等を実現するには…

- 人身売買・性的虐待・性搾取などの暴力をなくす。
- 児童婚・強制婚などの習慣や行為をなくす。
- 主に女性が担っている家事・育児・介護などを価値ある労働と認める。
- 政治や経済など、重要な意思決定の参加に性の区別をなくす。

「SDGs」(エス ディー ジーズ)は、「Sustainable Development Goals」の頭文字で、「持続可能な開発のための目標」という意味です。ユニセフ(国際連合児童基金)が、すべての人が幸福に暮らし続けるために提唱したもので、17の目標と169の具体的な行動の項目を定めています。「まなび」では17の目標を連載で紹介し、関連する記事に目標のアイコンとロゴを掲載しています。

11 住みつけられるまちづくりを

SDGs

住みつけられるまちづくりを

ゲタなび

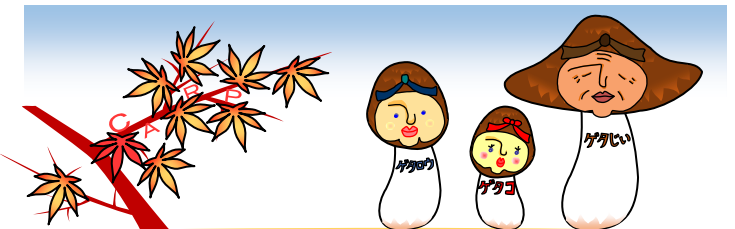
防災訓練の季節…、命を守る「強さ」の表現として、「レジリエンス」という言葉を見聞きます。これは、「弾力」や「回復力」という意味だそうで、「強靱(きょうじん)」と訳されています。

ヨーロッパでは「公共の果実」という考え方が古くからあるそうです。これは、街路や公園に果樹を植え誰が食べてもいいというルール。実際、デンマークの首都コペンハーゲンでは、昨年度「公共の果実」を増やす条例ができました。弾力のある備蓄のアイデア…。心の豊かさを感じます。

SDGs(持続可能な開発のための目標)では、災害への対応力をまちづくりの重要な要素に掲げ、その中で「レジリエンス」を求めています。例えば、災害の歴史に学び危険な場所を宅地にしないとか、カマドに変わる公園のベンチや下水道がトイレになるマンホールなどの設置…。そして、それらを使う練習…。こうした工夫の積み重ねが、

しなやかな力になるのでしょう。

新型コロナウイルスの影響で、近所のコミュニティが薄れがちになった話を見聞きます。人と人のつながりも大切な力。日頃から蓄えて「強靱」なまちづくりを創造できればと思います。



災害情報を固定電話にお知らせします

- 対象・携帯電話などを持っていない人
・高齢者など災害時要支援者
- 問合せ 危機管理防災課
電話 084-928-1228